

中学校 第2学年 道徳科 学習指導案

北海道教育大学附属
釧路義務教育学校後期課程
教諭 松永 悠佑

主題名 いじめをなくそう

教材名 4 あなたの声、心に届け（1時間）

内容項目 C 公正、公平、社会正義

本時のねらい 人と違うと不安になったり、ありのままの自分でいられなかったりする理由を話し合うことを通して、同調圧力に流されない、偏見のない社会の大切さに気づき、誰もが自分らしく生きられる社会のために、自分にできることを実践しようとする意欲を高める。

指導時期 5月頃

「指導者用デジタル教材」活用の意図・目的


1 「整理しよう」を活用した場面把握

教材の流れがまとめられた「整理しよう」をモニターに映すことで、場面の状況を確認することができる。ともに、学習目標にせまるためのポイントとなる登場人物の言動に着目でき、そこにある「私」の心情理解につなげやすくなると考える。

2 「思考ツール」や「学びの道しるべ」を活用した、生徒の思考の可視化

「思考ツール」にある「クラゲチャート」を活用し、「私」の言動や妹の重度難聴を隠そうとするエピソードから考えたことを可視化する。それらを比較することで、そこに潜んでいる共通の思いや考えをまとめて、一般的な考えへとつなげることができる。

本時の展開

	活動内容	デジタル教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●「指導者用デジタル教材」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 1. 教材に通じる体験について、日常生活を想起させ、教材の内容理解を深められるようにするとともに、まとめをする場面で振り返ることができるようにする。 T：「自分や身近な人の個性について、周りの目を気にして『恥ずかしい』と思ったエピソード」はありますか。言える範囲で交流しましょう。 S：ジャージを忘れて、自分だけ違う服装だった。 S：他の人たちがよいと思っているテレビ番組は、自分はちっともいいと思えず話に入らなかった。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●学習支援ソフトウェアを活用し、エピソードを記入させる。 ●学級の実態に応じて事前アンケートを実施しておいてもよい。 ●級友の体験を可視化して共有する。 ●センシティブな内容を含む場合があるので、匿名にするなど、生徒の心理的安全性を確保したうえで、共有するなどの配慮をする。

	活動内容	デジタル教材の活用
導入	<p>T：なぜみんなと違うと同じようになりたいと感じてしまうのでしょうか。</p> <p>S：みんなの目が気になるから。</p> <p>T：そういう気持ちってあるよね。今日は周りと同じことによってなぜ不安に感じるのか、ありのままの自分であるためにはどうすればよいのかについて、みんなで考えていこう。</p>	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●教材を朗読する。 <p>2. 妹の重度難聴を隠そうとする「私」の心情を考える。</p> <p>T：妹が補聴器を選ぶとき、「私」が、みんなと変わらない見た目でいられる黒や茶色を勧めたのはなぜだろう。</p> <p>S：重度難聴である妹のことを心のどこかで恥ずかしいと思っていたから。</p> <p>S：聴覚障がいであると周囲の人に知られると、自分達とは違う人と見られ、妹が辛い思いをすると考えたから。</p> <p>T：最初に交流したみんなのエピソードと同じで、「私」も妹が周りと同じことが気になり、無意識に妹の思いを隠そうとしてしまっているんだね。</p> <p>3. 「無意識の思いこみ」や「同調圧力」について考える。</p> <p>T：みんなや「私」のように、人がありのままの自分を隠そうとしてしまうのはなぜだろう。</p> <p>S：変な目で見られたり、いじられたり、仲間はずれにされたりすると感じてしまうから。</p> <p>S：「普通」じゃないとみんなに思われ、孤独感を感じてしまう可能性があるから。</p> <p>S：みんなと同じほうが、仲間をつくれると感じてしまうから。</p> <p>T：みんなと違うことはやっぱりだめなことなのかな。</p> <p>S：だめではない。でも、個人差はあると思うけど、どうしても隠したい気持ちがでてきてしまう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●朗読前に、筆者が自分たちと同じ中学生であることを紹介する。「少年の主張全国大会」で発表した内容であることにふれ、生徒の教材に対する興味・関心を高める。 ●「指導者用デジタル教材」の「整理しよう」を提示して、登場人物の心情を考えることにつなげる。 <div data-bbox="852 663 1485 1093" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●「学習者用デジタル教材」の「思考ツール」にある「クラゲチャート」を活用して、「私」の言動や妹が重度難聴であることを隠そうとするエピソードから、そこに潜む共通の思いや考えをまとめていくことも考えられる。 <div data-bbox="852 1272 1485 1554" data-label="Diagram"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●人と違うことはあたり前であることを確認し、その前提のもと、まとめにつなげる。

	活動内容	デジタル教材の活用
展開	<p>4. 「無意識の思いこみ」や「同調圧力」を解消するために自分ごととして何が出来るかを考える。</p> <p>T：誰もが自分らしく生きられるようにするために、あなたにできることはなんだろう。</p> <p>S：価値観は人それぞれで、お互いを認め合うことが必要なので、比べないこと。</p> <p>S：マイノリティを哀れんだり、否定したりするのではなく、逆に受け入れて自分の考えを広げようと努めること。</p>	<p>● 「学習者用デジタル教材」の「学びの道しるべ」をクリックし、「ペン」や「ふせん」を活用して考えを記入させることも考えられる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> </div> <p>● 記入したものを学習支援ソフトウェアを活用して回収しておくもよい。</p> <p>● 生徒を数名指名し、発表させる。</p>
終末	<p>● 本時の学習を振り返る。</p> <p>T：授業を通じて感じたこと、考えたことを書こう。</p> <p>S：誰もが違う部分をもっており、誰に対しても同じ態度で接することが、みんなが過ごしやすい社会をつくることにつながるのではないかと感じた。</p>	<p>● ふだん使用している振り返りを行うための学習支援ソフトウェアを用いてもよい。その際、カードに色をつけるなどして、どんな気持ちで記入したかを表現するなどの工夫も考えられる。</p>

「指導者用デジタル教材」を活用したことで得られた効果

■指導者側のメリット

【説明や資料提示の効率化・時間短縮化】

場面の状況について、「整理しよう」などの視覚資料を適切なタイミングで提示できるようになり、黒板に拡大印刷したものを掲示しなくてもよくなった。これにより、黒板やモニターの前などで、教材に対しての考えをスムーズに交流できるようになった。

【生徒の考えの蓄積・閲覧の簡易化】

学習支援ソフトウェアで学びの過程を蓄積しておくことで、紙ベースで残すよりも閲覧が容易になった。そのため、生徒の実態把握に生かしやすくなり、それらの情報を日常の指導に生かしやすくなった。

■学習者側の効果・メリット

【思考の可視化による深い学びと表現の円滑化】

タイピングの利用により、多くの文字を書くことに困難さを感じている生徒が、ワークシートに手書きするよりも、自分の考えを表現しやすくなった。

また、「思考ツール」を活用して、自分の考えを記入することで思考の整理ができるとともに、ワークシートを用いるよりも、多くの考えが可視化され、他者の考えとの比較が容易になり、共通点や相違点に気づいたり、考えを再構築したりしやすくなった。さらに、考える過程を学習支援ソフトウェアに集約して残すことができた。